

キャラクター名  
アイリー・シュピーゲル/各務藍 (かがみ・あい)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン モルフェウス		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	忘却	衝動	加虐		初期侵食率	32 %
出自	貧乏	経験	敵性組織	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	23
感覚	2	1	0	7		10	(非装備時)	23
精神	3	0	0			3	戦闘移動	28
社会	2	0	0			2	全力移動	56

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ	
100↓ 1~5 (侵食率12)	射撃	12r	8	15		12 d x 7 + 2 = 達成値	達成値d10 + 17
100↑ 1~5 (侵食率12)	射撃	17r	7	19		17 d x 7 + 2 = 達成値	達成値d10 + 21

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
コネ: UGN幹部	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 戦闘用人格P		N		
シュヴァルツェル・ノイマン・キルシュト	P 誠意	N 劣等感		
"ピサイド"	P 尊敬	N 食傷		
天翔昂	P 連帯感	N 疎外感		
マスターハーミットP	P 執着	N 脅威		
タカハシヨシノブP	P 便利	N 隔意		
杉山孝雄	P 便利	N 隔意		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ: モル	3	2	メジャー					
効果:	C値 -Lv							
ハンドレッドガンズ	4	3	マイナー					
効果:	武器作成 攻撃力 +Lv+4							
レインフォース	3	2	メジャー					
効果:	攻撃力+ Lv×2							
コンバットシステム: 射撃	1	3	メジャー					
効果:	D+ Lv+1個							
オウガバトル	1	2	マイナー					
効果:	攻撃力+ Lv+2							
万能器具	1							
効果:								
写真記憶	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「FHに所属していた?はい、以前はそうですが何か。今の所属はUGNですから、命じられたことを命じられるままに行うだけです」  
「我々は所詮組織の駒に過ぎないのです。私はただ命令に従う、上司(あなた)の鏡。それで何か問題でも?」  
「"ピサイド"は生まれた時から私の脳内に存在しています。彼が何者なのかは知りませんが、特に不便は感じていませんので」  
「気味が悪い?貴方の理解力ではそう表現する事しかできないのですね。――本当に、馬鹿ばかり」  
――"藍の鏡(ドラマツルギ)"アイリー・シュピーゲル、某任務における発言

頭の回転は早い感情の希薄な少女。幼少期はFHチルドレンとして過ごしていたが、兼ねてからその境遇を察していた"ピサイド"の勧めにより、ある任務においてUGNをセル内に手引きし、結果的に所属セルを壊滅に追い込む。  
"ピサイド"の交渉の結果UGNチルドレンとして保護され教育を受けることになるが、アイリー自身は"ピサイド"を疎んじこそしないものの「上から命じられたことをそのまま行えば良い」という思考が基本のまま変化しておらず、度々"ピサイド"に窘められている。  
N市支部に配属されてからは「各務藍(かがみ・あい)」の偽名を用いてN市公立高校に潜入している。  
戦闘では藍色の銃を錬成し正確な射撃攻撃を行う。

・一話後20点獲得→感覚2点上昇

・学園での様子  
「任務のために通っている」という意識が強いため、自分から積極的にクラスメイトに関わりたくはない。昂からの呼びかけには多少反応するが、学外で任務が発生すればそちらを優先しようとする。ノイマンのため学力に問題はなく授業を退屈に感じているが、"ピサイド"に授業は座って聞くものだと窘められるので黙って座っている。答えのわかりきった内容を聞かされるだけなのでわりと苦痛。昂が「学校楽しい!」と口にするたび内心理解できないと思っている。昼休みや空き時間は食堂で爆速ぼっち飯からの図書館入り浸りコンボを決めているため、クラスメイトには気がついて居なくなっている転校生だと思われている。好きなメニューはカルボナーラ。